

科目名		授業形態	担当教員名	
運動療法学Ⅲ		講義	松原 貴子・下 和弘	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
20 時間（1 単位）		10 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
<p>疼痛学の基礎ならびに疼痛の発生メカニズム、慢性疼痛の病態など疼痛の神経メカニズムについて学ぶ。また、疼痛の多面性を評価・治療するために、多角的かつ包括的なアセスメント法とリハビリテーション介入法（特に理学療法のなかでも、患者主体の運動療法）について習得することを目的とする。</p>				
授業の到達目標				
<p>1. 疼痛の基礎、病態、神経メカニズムについて説明することができる。 2. 疼痛の多面的アセスメント法について列挙することができる。 3. 疼痛のリハビリテーション介入法について説明することができる。</p>				
授業計画				
回	内容			
1	疼痛の疫学、定義・分類			
2	疼痛の発生メカニズム			
3	急性痛とは			
4	慢性痛とは（1）病態			
5	慢性痛とは（2）神経メカニズム			
6	疼痛のアセスメント法（1）			
7	疼痛のアセスメント法（2）			
8	疼痛のリハビリテーション介入法（1）リハビリテーションの有効性			
9	疼痛のリハビリテーション介入法（2）運動療法①運動による鎮痛			
10	疼痛のリハビリテーション介入法（3）運動療法②行動医学との組合せ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	疼痛の基礎や神経メカニズムについて説明でき、評価や介入の方法を列挙できる点を評価基準とする。		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
ペインリハビリテーション入門	沖田実・松原貴子	三輪書店		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				
<p>臨床実習や卒後の実臨床で活用、実践できるように、具体例も示しながら講義するので、疼痛に対する正しい理学療法を習得してほしい。 助手 丹羽 祐斗・常盤 雄地・堂北 絢郁</p>				